

一、今年未滿 日給三十日間

一、今年以上全ノハ一ヶ月ヲ増ス毎二日分ヲ加算シ

三百日分ヲ限度トス

臨時職工ハ此ノ限りニ非ス

但シ向フ六ヶ月間ハ現在在職工ヲ減負スル意思

ナキトス

六、日給二円以下ノ職工ニ付ル増給ノ件ハ其ノ

他扶養ノ義務ヲ負フ者ニ計困難ト認レル

者ニ限り二割以内ノ範圍ニ於テ二円ヲ限度トシ

相當補給ノ方法ヲ執ルベシ

七、定期早給ノ件ハ毎年一回九月ニ於テ該衛生

界給セシム

八、但シ特別ノモノハ臨時選拔昇給ヲ行フ事アルベシ
殘業歩増ノ件ハ旧ニ復ス

九、職工行復配組ノ件ハ出来得ル限り改善ノ方法ヲ

執ルコトトス

十、今回ノ件ニ付キ犧牲者ヲ出サシム事ヲ承認ス

但シ其ノ行爲常軌ヲ逸スル者ハ此限りニアラス

右大正十年五月二日附申出相成ル件ニ關シ回答候也

大正十年七月四日

為富造形等々、水田三十一

豊津工場職工代表小石照一外五名

本工協職工代表本石一外一名